

未来へと羽ばたく

子どもたちのために

—先生と地域の皆様への感謝とともに—



教育委員長 小松 裕子

昨年の夏、町内各所に置かれたマリーゴールドの苗は、晩秋まで可憐な黄色い花を咲かせ、街を彩ってくれました。

下諏訪町を花いっぱいにしたという社中生徒の提案で、五年前、社ガーデンプロジェクトとして立ち上がったこの企画は、三年前から下諏訪ガーデンプロジェクトとして、下諏訪中学校、南北両小学校、花田養護学校、向陽高校に浸透しました。

また、下諏訪中の当時三年生であった数名の生徒が、合唱部を作りたいと校長先生に嘆願し、今では社会教育団体ホワイトキヤンパスとして登録され、地域の方にその歌声を披露するまでになりました。

南小の児童は、下諏訪の商店街を見学しその成果を歌詞に込め、一昨年の下諏訪町民音楽祭で歌ってくれました。

北小の児童は、毎週水曜日に暑い日も寒い日も社中の坂を上って、自主学習のための場「寺子屋やしろ」に来て、終了時間ぎりぎりまで勉強しています。

こうした児童、生徒の幅広い

学習活動は、下諏訪版信州コミユニティースクールの先駆けとして、下諏訪町の誇る、素晴らしい一面であると同時に、これらの陰には、先生方の熱心なご指導と子どもたちへのご理解、またお忙しい時間を割いて協力して下さる地域の方々の心温かい見守りやご支援があつてこそ成し遂げられるものであると、深くお礼を申し上げる次第です。

子どもたちのこうした体験が、「私たちの思いを大切に、きちんと受け止めてくれる人がいる」「僕たちのことを知って、後押しをしてくれる人がいる」という思いとともに、感謝する心と生きてゆく自信を育てるのだと思います。子どもたちに携わって下さっている多くの皆様に、改めて感謝申し上げます。

昨今、いじめによる悲しいニュースが報道されておりますが、

ある本の中に『人間の価値は何ができたか？できなかったか？で決まるものではなく、そこに生まれそこに生きているだけで一人のかけがえのない存在として、皆が平等に神の目に貴い宝物です。あなたも、そして自分も大切な存在。生きていることだけで価値があるものなのです。』という一節があります。

この意味を深く分かち合うことができたなら、子どもたちは皆、もつと自由に自分を表現したり、心の奥にしまっている本当の優しさを出せるような気がします。

最後になりましたが、私たち教育委員は、直接子どもたちと接する機会はとも少ないのですが、それでも健やかな子どもたちの成長を願い、子どもたちとふれあい、笑顔で挨拶をかわしながら、寄り添っていけるよう努力してまいります。

◆成人を迎えての決意◆

人の役に立つために



東山田 波多野 和樹

今年成人式を迎えるにあたり、まずこれまで二十年間育て見守ってくれた両親をはじめ地域の方々へ感謝申し上げます。

私は今、親元を離れ神奈川県で一人暮らしをしている中で、いかに自分が周囲の方々に支えていただいたかを実感しています。また、アルバイトを通じて様々な人と接することで、コミュニケーションの重要性を学んでいます。

現在私は、大学で臨床工学技士となるために勉強しています。臨床工学技士とは患者や医療従事者に安全で安心して使用できる医療機器と臨床技術を提供する仕事です。今後医療機器は益々増え、一つ一つの使い方を覚えるのは大変になってきますが、命と直結する仕事ということを感じ日々勉学に励んでいます。

私の通学している北里大学では昨年、大村智特別栄誉教授がノーベル医学生理学賞を受賞しました。大村教授は、絶えず研究生を何かの役に立てることはないかと考え、「人の役に立つことをやりたい。」とおっしゃっていました。

自分も今後医療の業務を通じて多くの人の役に立てるように、まず大学でしっかり勉強し知識だけでなく、人格を磨き責任ある行動をとっていききたいと思います。とは言っても、成人になったばかりの未熟な私です。これからも、周囲の方々への感謝や謙虚さを忘れずに、日々努力していきます。

町の発展に貢献したい



武居 山田 あかね

平成二十八年一月、成人という一つの大きな節目を迎えることに大変喜びを感じています。

この二十年間を振り返りますと部活動や文化祭、受験や就職活動など楽しかったことや辛かったことが思い出されます。こうした中には必ず仲間の姿があり、仲間の支えがあったからこそ、この二十年間の思い出ができたと思います。中学・高校で出会った部活の仲間のお陰で人間的にも大きく成長することができ、私の一生の宝物です。

現在、私は下諏訪町役場の職員として働いています。生まれ育った下諏訪町への感謝と恩返し、そして下諏訪町の新たな魅力づくりを目指し、日々の業務に取り組んでいます。一日でも早く、地元を舞台として活躍する人材となり、未来の下諏訪町の発展に貢献していきたいと思えます。

日本では、少子高齢化が深刻な問題となり、若い世代の人口低下とともに若い力が低下してきています。そんな今だからこそ、私たち若い世代の団結が必要であり、この困難に真摯に立ち向かう時を迎えているのだと思います。今後の日本社会を支えていくのは、私たち若い世代の「新たな発想による視点」と「勢いのある実行力」そして「情熱による挑戦」だと思っています。新成人として自分自身はもちろん、多くの仲間達が、これから国際社会や地域社会という舞台で中心となり、信頼される頼もしい人間となれることを願っています。